

令和5年4月12日（水）

「人の話（発表・説明）を“よく”聞きましょう！」

今週は、話の聞き方についてお話しします。

「話を“よく”聞く」とはどういうことでしょうか？

私は、前に出て話（説明）をしてくれる人、または授業中なら発表をしてくれる人に敬意を払うことが大切で、それが「話をよく聞くこと」につながるのではないかと考えています。

人によっては、みんなから見られると緊張する・・・という場合もありますが、前で話をする人（自分の考えなどを授業中に発表する人）は、「自分の話を聞いてくれるかな？」とか「まちがうと恥ずかしいな・・・」といった感情をもつのではないのでしょうか。

そこで、皆さんに3つお願いです。

- 1 話をする人が誰であれ、話を聞くときには話す人の方に顔や体を向けましょう。
- 2 授業中などは、「分かった、自分も同じ考えだ」という場合は、小さくうなずく等の反応をしながら話を聞きましょう。
- 3 人が話をしているときは、口を開かないようにしましょう。
分からないことや質問は、相手が話し終えてから聞きましょう。

人に優しい志中生を目指す皆さんは、「話す相手のことを考えた聞き方」を大切にして、これから友だちや先生方の話（発表・説明）を「“よく”聞いて」ほしいと思います。